

令和3年度事業報告

会員の皆様には、令和3年度の事業推進に当たり、新型コロナウイルスの影響により日々変化する状況に応じた行事開催、中止に多大のご理解、ご支援、ご協力を賜わりありがとうございました。

新型コロナウイルスについては、変異型オミクロン株による第六波の蔓延防止対策が落ち着いてきたものの、未だ新規感染者数は高止まり、予断を許さない状況が続いています。第3回目のワクチンの接種も停滞模様で、長引くコロナ禍での気のゆるみが見られますが、今は我慢の時です。逆に今しかやれないことをしっかりこなしていきましょう。思いっきり剣道・居合道・杖道ができる日が一日も早く来ることを願っています。

はじめに

今年度の特殊事情として「新型コロナウイルス対策」について

一昨年4月の緊急事態宣言に備え、Zoomによる三役会議を適宜開催し、全日本剣道連盟とも情報交流を密にし、ただただ自粛でなく「今やれることを工夫してすぐやる」をKEY WORDに機動的に対策を講じた。昨年度はコロナに翻弄されたが、今年度は「with コロナ体制」への軌道に乗り、可能な範囲で行事の開催を進めることができた。

A. 事務局体制 再開に向けて体制を維持しながらリスク回避

コロナ防護対策・・・感染防止マニュアルと機材の備えを徹底した
行事開催・中止判断・・・判断基準を確立し、迅速な対応を図った
「持続化給付金」申請→給付済 国から60万円、大阪府から50万円

B. 再開に向けて 全剣連と情報交換を密にし、「大阪版ガイドライン」に基づき前向きに対応

審査会・・・体育施設のコロナ感染防止規制に則って、会員の皆様のご理解、ご協力の下、密にならない動線確保と座席・待機場所のスペース確保、備品やフロアの徹底消毒、入館前の手指消毒・体調確認票の全員提出と厳格チェック・非接触体温計での効率的な検温等により入館前の水際防止対策を徹底した。更に無観客・日程分散開催・午前午後の二部制・実技の複数審査・学科審査のレポート提出化等柔軟思考で対応した。
講習会・大会・・・人数規制、座学時のイス固定、換気・消毒の徹底等を行った。
暑中稽古・寒稽古・・・参加人数が多く、不特定となるため今回は中止とした。
各種会合・・・換気・消毒他感染防止対策の整った会場選択のほか、Zoom等のWebによる会議運営を推進した。

C. 活動再開の先（新規参入者の剣道離れ等）を見据えて

（未来構想）年度切り替え登録時に各団体にアンケートを実施し、10年先を見据えて「今やっておかなければならないこと」を抽出し、関係委員会の組織力を統合活用する「少子高齢化対策連絡会議（略称：SKR）」を立ち上げ、行動に移す準備が整った。
（総務・賛助WG）新人募集を支援するgoods（大阪版剣道の心キーホルダー等）配布した。
（広報・総務・普及）行事がない中で会員との絆を保つ双方向コミュニティ情報誌「おおさか剣道かわら版」（Vol.～12）をweb発信し展開した。

基本的な課題として

（1）「少子高齢化とコロナ禍での剣道離れ」について

剣道界全般の流れとして、少子高齢化の影響とコロナ禍による剣道離れの危惧が大きく身近に感じられた年であった。

全体を概観すると、新生児出生数が第1次ベビーブーム時代（270万人）の1/3（84万人）

に減少し、これまで横ばいを続けてきた総人口が、徐々に減少の傾向が見えてきたことはご承知の通りで、年齢別の人口構成を比較すると、確実に1年ずつ年齢層が高くなっている。更に今年度は、高校卒業直後の19歳が200名を割り、大学卒業直後の23歳が300名を割るなど、過去最低を記録した。コロナ禍での若年層の節目での剣道離れの実態が見えてきた。

当連盟の会員人口に比例すると考えられる昇段審査受審者数の推移を見てみるとそれがよくわかる。年度により変動はあるが、正確な統計を取り始めた直近の10年ほどは、年平均2%程度の減少傾向が続いていたが、特に、この3年間では新型コロナウイルスの影響による初・二段クラスの受審者数の減少が著しく、12年前と比較すると56%（年平均4.7%）の減となった。

このような人口減少下に直面しつつも、なんとか現状の剣道人口を維持し、剣道理念を引継ぎ、生涯剣道につなげたいというのが、大きな課題である。

（定款 第3条）「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する」ことを大命題とする当連盟としては、今まで以上に最重要課題として「少子高齢化」と「コロナ禍が常態化する中での剣道離れ」に危機感をもって真剣に取り組んで行かなくてはならない。

すそ野を広げる活動も重要であるが、この程度の少子高齢化が避けられないとすれば、これに見合った事業展開を検討する時期に来ている。

（2）「賛助会員制度」による支援活動について

スタート後7年目を迎えた賛助会員制度には、約300件、200万円を超えるご協力をいただいた。残念ながら長引くコロナ禍で漸減傾向にあるものの、t o t oスポーツ振興基金からの少年大会への助成に目途が立ってきたことから、賛助会員制度の所期の目的に沿ったバランスの良い支援活動の継続展開を目指した。

以下、支援活動の状況

A. 少年・・・第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会→中止

B. 女性・・・2022 オールおおさか剣道WOMANフェスタ→大会は中止したが、フェスタに代えて「動画配信」で、コロナで疎遠になりがちな絆を固めようと「女性がつなぐ未来へのメッセージ」を皆で企画した。第1回は皆様よくご存じの末永真理（旧姓：山本真理子）さん（元・大阪府警）からのメッセージで始まり、「女性がつなぐ未来へのメッセージ」をテーマに数珠つなぎのシリーズ展開を始めた。

C. シニア・・・第4回大阪剣道マスターズ大会は参加者皆様の協力を得て無事開催できた。

D. 大阪版「剣道の心」・・・稽古・行事が出来ない中で、剣道大好き仲間の絆をしっかり支えるべく、大阪版「剣道の心」普及活動を中心に唱和をテーマにした面手拭い、キーホルダー、缶バッジの制作・配布による「コロナに負けるな キャンペーン」を推進した。

また、公益法人として会員の皆様の便宜を図るため、「税額控除制度」の適用申請を進め、許認可を得たことはご承知の通りで、従来「所得控除」に加え、「税額控除」の選択が可能となり、より有利な税務上の優遇策を受けられることとなったことを周知徹底した。なお一層のご支援、ご協力を賜りたい。

（3）「財政基盤の確立」について

当法人の財政は、「個人会費」と「審査料・登録料」を基盤としてきた。ご承知のように、公益法人を取り巻く事業環境は更に厳しく、「個人会費」は少子化が進み、「審査」はコロナ禍で行事開催がままならない中でのやりくりとなった。更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、財政基盤の安定確立化に取り組んだ。

基本方針として、公益法人化の原点に戻り、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営を目指した。1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立つ中期計画の展開に、ここ数年取り組んできた。長引くコロナ禍の常態化も勘案し、様々なコストプレッシャー要因を把握整理した

上で、赤字事業の見直し、管理費の削減等聖域のない徹底した緊縮財政に取り組んだ。各方面でご理解、ご協力をいただいております、これを継続し、安定した財政基盤の確立を推進した。

審査会については前述の通り、皆様方のご理解、ご協力の下、工夫展開し、予定の回数を開催することができたが、受審者数の減少が大きく影響した。

一方、コロナ禍で大きな行事ができなかったこと、行政からの持続化支援金等の給付を受けることが出来たこと、それに事務局を中心に徹底したコスト削減策を実施したことにより、当初懸念された大きな赤字を回避することが出来た。引き続きこの体制を持続徹底する。

(4) ガバナンス・コンプライアンスの取り組み

以上の基本的な課題に加え、特に昨今スポーツ界を騒がせている「体罰・暴力的指導」「ジェンダーギャップ」への対応を強化した。剣道家の常識が世間一般の非常識とならないよう、技術のみに偏らない「人間形成につながる」指導法の研鑽と更なる指導者育成に向けて講習委員会を中心に対策を検討推進中である。

その他事業については

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員の派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については、コロナ禍で中止を余儀なくされたものもあるが、出来る範囲で各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに応え、中学校における武道必修化対応事業として「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を企画し、これまでに計130名余りの派遣講師候補を養成した。また中学校の現場から高まる要請に応じ、授業協力外部講師の派遣を推進した。一般見学者にも開放する公開授業について準備を進めていたが、コロナ禍で中止となった。教育行政の中で、働き方改革の一環として部活動支援（部活動指導員の導入）の機運も高まってきており、特に地域（社会体育）主導方針を先取りして大阪府・大阪市他の教育委員会担当部門との情報交換を密にするなど、今後も全面的に協力を行う方針である。
- (3) とかく閉鎖的であった剣道界であるが、少子高齢化問題をはじめとした共通課題について各地の剣道連盟との情報交換を進めた。同じ公益社団法人として組織運営面で共通の課題を持つ福岡県、埼玉県剣道連盟、そして地勢的に共通点の多い近畿2府4県、課題が共通する東京都等の交流を深め、お互いの課題解決に向け意見交換を進めて行く。

以下、令和3年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I. 公益事業

1. 個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行（平成24年4月～）して10年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交剣知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただく事を期待する。

個人会員数は、高校生相当年齢1,752名、大学生相当年齢718名、一般13,159名であった。なお、中学生以下の登録者は7,177名で、その合計は22,806名であった。昨年度と比べると、

一般の登録者は微減（昨年度比約△2.5%）、大学生相当年齢および高校生相当年齢は変動なし、中学生以下の登録者数は減少（昨年度比約△5%）の傾向がより顕著となった。個人会員数合計は、昨年度比約3.2%の減少となった。

本年度の入会登録団体は2団体あり、退会登録団体は4団体で、本年度末の登録団体数は560団体となった。

2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第4条第2号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図るため、講習会を開催した。

剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベルUPを図るために、府下9地区を北・中・南の3ブロックに大きく括り、八段講師を毎回約5人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を企画したが、新型コロナウイルスの影響により北ブロック1回の実施となり、受講者は90名であった。

指導講師間での趣旨徹底、意思統一するため、5月15日全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会・審査員審判員研修を企画したが、新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされた。これまで実施してきた講習会については、審判法3回、日本剣道形2回、指導法1回、合計で6回開催した(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指導法1回、女子稽古会1回を中止した)。従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進したが、新型コロナウイルスの影響により、実施回数はわずか5回の実施にとどまり、受講者延べ228名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理することとしているが、コロナ禍においては、弾力的な運用を検討せざるを得ない。

全剣連の主導により中学校における武道必修化授業に対応した7回目の「授業協力者養成講習会」を企画・開催したところ、42名が受講した。

居合道では、夏季講習会・春季講習会・特練会3回・高段者特別練成会1回・審判講習会1回の実施となった。恒例となった、派遣講師による特別講習会を全剣連居合道委員長 草間純市範士を招聘して、指導技術の向上をテーマに4月3・4日に実施したところ、延139名が受講した。

杖道では、2回の主要講習会（春季講習会・秋季講習会）に加えて2回の月例研修会の実施となった(新型コロナウイルス感染拡大・使用予定施設がワクチン接種会場として使用・借用施設狭小のため等により、多数の講習会が中止となった)。

三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を2月6日（日）エル・おおさかに於いて、講師に小澤邦光氏（東京海上日動火災保険株式会社 公務第二部文教公務室）を招聘して「スポーツ活動におけるリスクマネジメント～スポーツ事故と法的責任（賠償責任）～」を、中田研医師（大阪大学医学部健康スポーツ科学講座 教授）を招聘して「アスリートの膝関節疾患について」をテーマにして、開催したところ、来場者とZOOMを通しての参加者70名余りが受講した。

暑中稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、例年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。また、寒稽古の開催についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っている一般を対象にしたものは中止した。

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの)

3、各種大会開催事業（同条第3号）

本連盟主催分・・・ 4月3日（土）・4日（日）第53回大阪府少年剣道大会
6月12日（土）第54回大阪府少年剣道大会
・・・12月19日（日）に延期して実施
~~6月20日（日）第58回大阪杖道大会~~

7月 3日(土) 第4回大阪剣道マスターズ大会
~~7月17日(土) 第68回大阪府剣道優勝大会~~
~~9月26日(日) 第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会~~
~~10月 2日(土) 第18回大阪府女子剣道優勝大会~~
 本連盟後援分・・・~~10月24日(日) 第44回関西杖道優勝大会~~
 11月20日(土) 第51回居合道段別大会
~~令和4年 1月 9日(日) 第63回大阪居合道大会~~
 本連盟主管分・・・~~4月29日(祝) 第69回全日本都道府県対抗剣道優勝大会~~
~~5月29日(土) 大阪市長杯第65回市民剣道大会~~
 8月22日(日) 第76回国体近畿ブロック大会

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣（同条第4号）

次のとおり派遣した。

<剣道>

4月 3日(土)～4月 4日(日)	第56回剣道西日本中央講習会	神戸市	高嶋
4月18日(日)	第19回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市 船津、山本、吉田	
5月 4日(祝)～ 6日(祝)	第117回全日本剣道演武大会	京都市	参加者： 各
6月11日(木)～14日(日)	第59回剣道中堅剣士講習会	奈良市	
7月10日(土)	第13回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	奈良県橿原市 篠原、藤武、大亀、林、三宅	
8月22日(日)	第76回国体 近畿ブロック大会	大阪府大阪市 少年男・女、成年女子	13名
9月 5日(日)	第67回全日本東西対抗剣道大会	大分県大分市 大亀、村上、吉田	
9月19日(日)	第60回全日本女子剣道選手権大会	奈良県橿原市 近藤、藤山、住野	
9月26日(日)	第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市	小学生チーム 1チーム、中学生チーム 1チーム 計 2チーム
10月 2日(土)～10月 4日(月)	第76回国民体育大会	三重県伊賀市	成年男子 計1チーム
10月17日(日)	剣道講師要員「指導法」近畿ブロック研修会	奈良市 石田・愛甲・下垣・古谷・首藤・佐藤・清家・吉村・藤武	

~~10月30日(土)～11月1日(月) 第33回全国健康福祉祭 岐阜県関市
大阪府チーム：上田、葉野、安達、井上、川頭、鳥濱
大阪府チーム：角谷、桑田、原、植西、村岡、長野
堺市チーム：隅田、金内、神脇、河内、藤澤、寺田~~

11月 3日(祝) 第69回全日本剣道選手権大会 東京都
草野、土谷、高

12月 4日(土)～5日(日) 第1回「骨太」近畿ブロック講習会 奈良市
指導者：中尾真吾
受講生(男子)：森田・藤木・永井・山本・小角
受講生(女子)：岡崎・藤崎・玉置・岡崎・近藤

12月26日(日) 第69回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 和歌山市
平野、西田、北菌、日下、村上、大城戸、勝見、吉村

<居合道>

~~5月4日(祝) 第117回全日本剣道演武大会 京都市 参加： 名~~

6月26日(土)～27日(日) 全剣連中央・地区講習会 大分県大分市
参加：29名

7月 3日(土)～4日(日) 全剣連地区講習会 新潟県上越市
参加： 0名

10月 9日(土) 第56回全日本居合道大会 東京都
本郷、伏見、大場、吉田、中島

<杖道>

~~5月4日(祝) 第117回全日本剣道演武大会 京都市 参加： 名~~

8月21日(土)～22日(日) 全剣連中央・地区講習会 北海道札幌市
参加：8名

10月17日(日) 第48回全日本杖道大会 愛知県名古屋市
初段：2名 二段：2名 三段：4名
四段：4名 五段：0名 六段：2名
個人演武：4名 参加：18名

令和4年1月29日(土)～30日(日) 全剣連中央・地区講習会 東京都
参加：12名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与(同条第5号)

段位審査会も新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。審査方法の工夫・分散開催など新型コロナウイルス感染防止策を講じて可能な限り実施した。剣道審査については変則的ながらも7回、居合道2回、杖道2回を実施した。剣道の受審者数は2,595名で、前年度より20.7%の減少、居合道および杖道は予定通り2回実施したが、受審者数については、ともにやや減少した。

全剣連高段者審査会の前年度比受審者は杖道ではやや減少、剣道と居合道では増加したものの、新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準には遠く及ばない状況であった。

6、功労者の表彰(同条第6号)

①令和3年度 全剣連 剣道功労賞 島野 大洋

- ②令和3年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
 豊能地区 箕面少年剣道錬成会
 三島地区 太志館道場
 大阪南地区 天王寺少年剣道推進会 平野少年剣道推進会
 泉州地区 旭少年剣道クラブ

- ③公益財団法人大阪府スポーツ協会 75周年記念顕彰「体育功労賞」 島野 泰山

- ④令和3年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞
 金賞 池田 功
 銀賞 徳澄 博康
 " 藤田 國雄
 " 石河 和彦
 団体賞 平野剣道協会

- ⑤範士受称 居合道 光行 良一
 ⑤八段昇段 杖道 服部 知司

7、その他当連盟の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区（合同講習会含む）・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して例年活発な活動が行なわれているが、新型コロナウイルスの影響により、5回の開催にとどまった。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された3回(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多数中止)の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、45回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度初め5月～6月の審査会は全て中止）の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し援助を行なったが、その活動数・補助金支出額はわずかにとどまった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページ・ツイッター・メールマガジンの活用について検討を続け、それを促進してきたところ、新型コロナウイルス禍において、その活用が極めて大きな役割を果たすことが実証された。重点事項としてより大きく推進していくこととする。

今後も無観客開催などの方法を継続する必要性もあり、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進する。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を積極的に提供していく。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、当連盟主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険の加入状況など

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全登録団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は 247 団体 1,723 名で、加入団体数は微増、加入人数においては 4.4%の減少となった。このことから、1 団体の所属者数が減少（登録団体が小規模化）の傾向にあることが読み取れる。なお一層の加入団体と加入者数の増加に努めたい。

スポーツ安全協会から得た情報によれば、昨今、怪我・事故など発生した場合に指導者の管理不足・配慮不足などが問題となり損害賠償の対象になる事例も大幅に増加しており、このようなケースにも対応できるスポーツ安全保険の加入を更に促進させたい。

傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は 43 件で、昨年度に比べ 9 件増加したが、新型コロナウイルスの影響を受ける前と比すれば少ない件数で、稽古回数減少によるものと思われる。事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計 261 冊を販売した。昨年において大幅な減少となった。

2、広告等募集事業

例年、大会プログラムの広告掲載を各方面より募集しているが、多数大会が中止となり件数 1 件、総計 50,000 円となった。

III. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を 3 回、理事会を 4 回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務、IT・広報、財務、補助金審査、未来構想、学校、普及、少年、女子、講習会、審判、強化、審査、審判員選考、事業、居合道、杖道、審査員選考の 18 専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

上記会議の 20%程度を ZOOM を活用して開催した。

令和3年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

	講習会名称	実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	3回	15名	122名
	日本剣道形講習会	2回	7名	98名
	指導法講習会	1回	5名	37名
	女子稽古会・講習会	0回	0名	0名
	計	6回	27名	257名

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指導法講習会1回、女子稽古会1回を中止した)

令和3年度特別講習として

10月31日(日) 剣道指導者講習会 於丸善インテックアリーナ
白井利明(大阪教育大学総合教育系教授)「現代の子供の理解」
濱口雅行教士(大剣連理事)「初心者でもわかる剣道と人間形成の関係」 参加：28名

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの)

(2) 各種大会の開催

4月 3日(土) 第53回大阪府少年剣道大会(小学生個人) 於貝塚市立総合体育館
午前の部 優勝 第一試合場：松村 太樹 第二試合場：前田 鹿月
第三試合場：八角 響 第四試合場：今井 柊馬 参加：100名
午後の部 優勝 第一試合場：塩川 結依子 第二試合場：木下 裕愛
第三試合場：北東 功大 第四試合場：濱中 結心 参加：100名

4月 4日(日) 第53回大阪府少年剣道大会(中学生個人) 於貝塚市立総合体育館
女子の部 優勝 第一試合場：葛西 美月 第二試合場：山本 ひより
第三試合場：山田 莉子 第四試合場：古閑 園子 参加：73名
男子の部 優勝 第一試合場：石塚 太陽 第二試合場：前田 健翔
第三試合場：金丸 蓮 第四試合場：今井 陽太 参加：159名

~~5月29日(土) 大阪市長杯第65回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝：男子の部 於大阪府立修道館
女子の部 参加：——チーム——名~~

6月12日(土) 第54回大阪府少年剣道大会
~~兼 第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会大阪府予選会
於丸善インテックアリーナ大阪(大阪府中央体育館)~~
・・・12月19日(日)に延期して「第54回大阪府少年剣道大会」を実施
於おおきにナリーナ舞洲(舞洲アリーナ)

午前の部 低学年(参加：144名)
優勝 Aブロック：森田 理仁 Bブロック：木下 大輔 Cブロック：石田 征寿
午後の部 高学年(参加：199名)
優勝 Aブロック：木下 裕愛 Bブロック：梶島 千咲葵 Cブロック：矢野 稜和

7月 3日(日) 第4回大阪剣道マスタース大会
於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
参加:延70名(剣道:53名、居合道:8名、杖道:9名)

~~7月17日(土) 第68回大阪府剣道優勝大会~~
~~於おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)~~
優勝:男子一般 参加: チーム
女子一般 名
高校男子

~~9月26日(日) 第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)~~
~~於おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)~~
参加:小学生の部 チーム
中学生の部 チーム

~~10月2日(土) 第18回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター~~
個人戦の部 優勝 一部: 二部: 三部:
四部: 五部: 参加: 名
団体戦の部 優勝 一部:
二部:
参加: チーム、 名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行い開催促進したが、新型コロナウイルスの影響により、多くは実施されなかった。

(3) 各種予選会の開催

5月 9日(日) 第13回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選
於修道館

5月29日に変更して実施した。

代表:篠原、藤武、大亀、林、三宅 参加:31名

4月24日(土) 第33回全国健康福祉祭剣道交流大会選手選考会
於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)
参加:29名

代表:(大阪府チーム) 上田、葉野、安達、井上、川頭、鳥濱
(大阪市チーム) 角谷、桑田、原、植西、村岡、長野
(堺市チーム) 隅田、金内、神脇、河内、藤澤、寺田

5月16日(日) 第76回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
代表:(男子)大橋、森田、勝見、北口、吉田 参加:82名
(女子)徳田、小川、曾根

6月26日(土) 第60回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館
代表:近藤、藤山、住野 参加:34名

9月11日(土) 第69回全日本剣道選手権大会・大阪府予選
代表：草野、土谷、高

於修道館
参加：61名

令和4年2月23日(祝) 第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選

於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

代表：河合、奥田、足達、村上、岩切(推薦)、森、三浦(推薦) 参加：101名

(4) 審査会

7月24日(土) 東大阪アリーナ…(初段・二段)
7月31日(土) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)…(三段～五段)
10月23日(土) はびきのコロセアム…(三段～五段)
11月23日(祝) 高槻市総合体育館…(初段・二段)
令和4年1月22日(土) 堺市原池公園体育館…(初段～三段)
3月20日(日) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)…(三段～五段)
3月21日(祝) 丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)…(初段・二段)

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	978	829	414	204	170	2,595	△ 680	△20.7%
(うち女性)	346	262	168	67	65	908	△ 43	△ 4.5%
合格者数	875	643	296	92	68	1,974	△ 476	△19.4%
(うち女性)	316	214	79	19	9	637	△ 123	△16.2%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	230	316	164	31	35	—	776	+237	+43.9%
合格者数	75	65	0	31	35	0	206	+ 65	+46.1%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

~~7月17日(土) 第68回大阪府剣道優勝大会 於おおきにアリーナ舞洲
(舞洲アリーナ)~~

~~演武 日本剣道形
宝蔵院流 槍術
小野派 刀流 組太刀
なぎなた~~

~~7月30日(金) 暑中稽古 於おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)
参加者： 名~~

~~令和4年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪
(大阪市中央体育館)~~

~~参加： 名~~

3月の国際女性DAYに合わせた新しい企画として、

令和4年2月26日(土) 2022 オール大阪剣道 WOMAN フェスタ

於エディオンアリーナ大阪(府立体育会館)

「つなぐ-en-システム㈱」と共催、数社の協賛を得て、実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

Ⅱ 居 合 道

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの)

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月15日(土) 第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於千島体育館	参加：——名
6月19日(土) 審判講習会	於東淀川体育館	
・・・7月18日に延期して、大阪市立修道館於いて実施		参加： 67名
7月24日(土) 第2回特別強化練習会	於千島体育館	参加： 91名
7月31日(土) 夏季居合道講習会	於千島体育館	参加：152名
9月18日(土) 全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：144名
10月31日(日) 特別強化練習会(大阪居合道大会予選会を中止したため)		
	於臨海スポーツセンター	参加： 88名
令和4年1月16日(日) 新年合同稽古会	於修道館	参加：——名
2月 5日(土) 第3回特別強化練習会	於千島体育館	参加： 82名
2月11日(祝) 高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加： 27名
2月19日(土) 春季居合道講習会	於修道館	参加：157名
令和3年4月 3日(土)～ 4日(日) 特別講師講習会	於修道館	参加：延139名
全剣連居合道部委員長：草間 純市 範士		

(2) 各種大会の開催

11月20日(土) 第51回居合道段別大会	於修道館	参加：119名
(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)		
段外：藤森、鴻野		
初段：告野	二段：山下	三段：勝田
四段：依田	五段：大場	六段：木村
七段：最優秀賞…黒木、 部長賞…中島		

令和4年1月 9日(日) 第63回大阪居合道大会	於エディオンアリーナ大阪	参加：——名
	(大阪府立体育会館)	
(段外は優秀演武者受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)		
＜男女混成＞ 段外：——名		
七段…福田一男杯受賞者：——		
……大阪居合道同志会長杯：——		
……最優秀演武者：——		
＜女子の部＞	初段：——	二段：——
	二段：——	四段：——
	五段：——	六段：——
＜男子の部＞	初段：——	二段：——
	二段：——	四段：——
	五段：——	六段：——
＜団体の部＞	優勝：——	2位：——

(3) 各種予選会の開催

7月18日(日) 第56回全日本居合道大会大阪府選手選考会

(審判講習会)

於大阪市立修道館

監督: 本郷、伏見

選手: 大場、吉田、中島

参加: 11名

~~10月31日(日) 第63回大阪居合道大会大阪府予選会 於臨海スポーツセンター~~

~~参加: 名~~

~~3位: ー~~

~~決勝戦は、1月9日大阪居合道大会で実施、優勝: ー 2位: ー~~

(4) 審査会

8月22日(日) 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

令和4年 3月12日(土) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	33	24	16	18	16	107	△18名
合格者数	31	22	11	7	6	77	△15名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	15	7	9	5	2	ー	38	+3名
合格者数	3	2	0	5	2	1	13	+5名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

~~7月17日(土) 第68回大阪府剣道優勝大会 於おおきにアリーナ舞洲~~

~~(舞洲アリーナ)~~

~~演武~~

~~10月2日(土) 第18回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター~~

~~演武~~

~~令和4年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪~~

~~(大阪市中央体育館)~~

~~参加: 名~~

Ⅲ 杖 道

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの)

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 3日 (土)	春季講習会	於東淀川体育館	参加：62名
5月 9日 (日)	一般研修会	於川西市総合体育館	参加： 名
6月 6日 (日)	高段者研修会・審判講習会	於川西市総合体育館	参加： 名
7月 11日 (日)	一般講習会・強化練成会	於東淀川体育館	参加：52名
8月 1日 (日)	一般研修会・強化練成会	於川西市総合体育館	参加： 名
9月 5日 (日)	伝達講習会	於川西市総合体育館	参加： 名
(川西市総合体育館がワクチン接種会場となったため)			
10月 3日 (日)	高段者研修会・強化練成会	於川西市総合体育館	参加： 名
(川西市総合体育館がワクチン接種会場となったため)			
11月 7日 (日)	特別研修会	於川西市総合体育館	参加： 名
(川西市総合体育館がワクチン接種会場となったため)			
11月 21日 (日)	秋季講習会	於修道館	参加：63名
12月 5日 (日)	特別研修会・稽古納め	於川西市総合体育館	参加： 名
令和4年 1月 8日 (土)	稽古始め・特別研修会	於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	参加：69名
2月 6日 (日)	高段者稽古会・強化練成会	於川西市総合体育館	参加： 名
3月 6日 (日)	高段者研修会	於川西市総合体育館	参加： 名

(2) 各種大会の開催

~~6月 20日 (日) 第58回大阪杖道大会兼第48回全日本杖道大会大阪府予選会~~
~~於修道館 参加： 名~~

~~(優勝者のみを記載)~~

~~初段以下： 二段： 三段：~~
~~四段： 五段： 六段：~~

~~10月 24日 (日) 第44回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加： 名~~

~~＜団体戦＞ 優勝： 準優勝：~~

~~＜個人演武優秀賞＞ 段外： 初段： 二段： 三段： 四段：~~

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月20日(日)第58回大阪杖道大会兼第48回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月25日(日) 於大阪市立修道館
 ……7月11日(日)に延期して実施 於東淀川体育館

11月21日(日) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合 計	前 年 比
受審者数	11	10	7	12	8	48	+ 12名
合格者数	10	9	7	9	3	38	+ 15名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	2	3	2	5	0	—	12	△4名
合格者数	2	0	1	5	0	—	8	+3名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

~~7月17日(土) 第68回大阪府剣道優勝大会 於おおきにアリーナ舞洲
(舞洲アリーナ)~~

~~演武 全日本剣道連盟杖道形
神道流 剣術
内田流 短杖術
心流 鎖鎌術~~

~~10月2日(土) 第18回大阪府女子剣道優勝大会 於臨海スポーツセンター
演武~~

11月28日(日) 第8回広島杖道大会 於広島県立総合体育館
参加：5名、2チーム

~~令和4年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪
(大阪中央体育館)~~

~~参加：名~~

~~3月 日() 第8回杖道体験講習会 於 参加：名~~

これらの他、新型コロナウイルス感染対策の徹底に力を注いだ。

例年、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いでいるが、新型コロナウイルスの影響により、機会を得ることができなかった。

令和 3 年度事業報告 附属明細書

令和 3 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 4 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟